

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(世界ランクシリーズ: <http://mylibrary.maeda1.jp/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0506

(注)本稿は2020年6月17日から19日まで3回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2020.6.21

前田 高行

中東は湾岸の小国以外ほとんど世界 100 位以下:世界平和指数

(世界ランクシリーズ その8 2020年版)

国連などの国際機関あるいは世界の著名な研究機関により各国の経済・社会に関するランク付け調査が行われている。これらの調査について日米中など世界の主要国及びトルコ、エジプト、イランなど中東の主要国のランクを取り上げて解説するのが「世界ランクシリーズ」である。

第8回の世界ランクは、NGOグループ Vision of Humanity が The Economist Intelligence Unit (EIU、英国の経済誌エコノミストの一部門)のデータをもとに取りまとめた「The Global Peace Index 2020」をとりあげて比較しました。

* Vision of Humanity のホームページ:

<http://visionofhumanity.org/indexes/global-peace-index/>

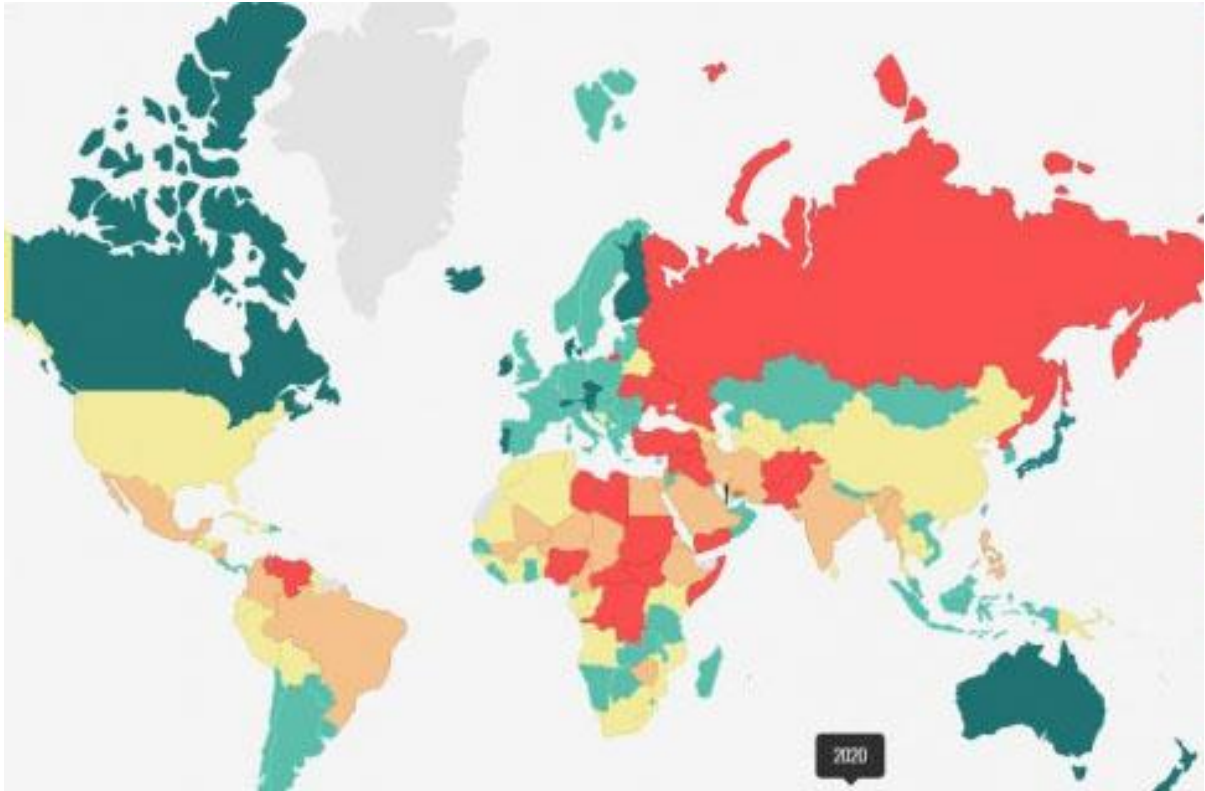
1. 「The Global Peace Index」について

Global Peace Index は各国の平和の程度およびそれを維持するための機能を指数化し、ランク付けしたものである。2007年に実施された第1回調査ではその対象は121カ国であったが、今回の2020年版では163カ国を対象に調査が行われている。

平和指数は EIU 社の国別調査員と外部ネットワークの協力を得て作成されている。指数は小型破壊兵器(銃、小型爆発物など)の入手の容易さ、国防費¹、汚職、人権に対する尊重の度合いなど24項目をベースにして作成されたものである。

「世界平和指数」の査定結果には以下のような特徴が見られる。

- ・ 平和の度合いは収入、教育制度、地域一体化のレベル等の指標に関連している。
- ・ 平和な国の多くは政府の透明性が高く、汚職が少ない。
- ・ 小さいが安定した国は平和のランクが高い。



(平和の世界地図: 青色 Very high、黄緑 High、黄色 Medium、オレンジ Low、赤 Very low)

(世界163か国中で日本は9位、米中アラブ主要国は軒並み100位以下！)

2. 2020年の世界ランク及び2019年との比較(末尾表 8-T01 参照)

2020年の平和指数世界1位はアイスランドでスコアは1.078である。これに続く世界5位までにはニュージーランド、ポルトガル、オーストリア及びデンマークがあがっている。ニュージーランド以外はいずれも西ヨーロッパの国々である。なおこれら上位5か国の顔触れと順位は前年と同じである。

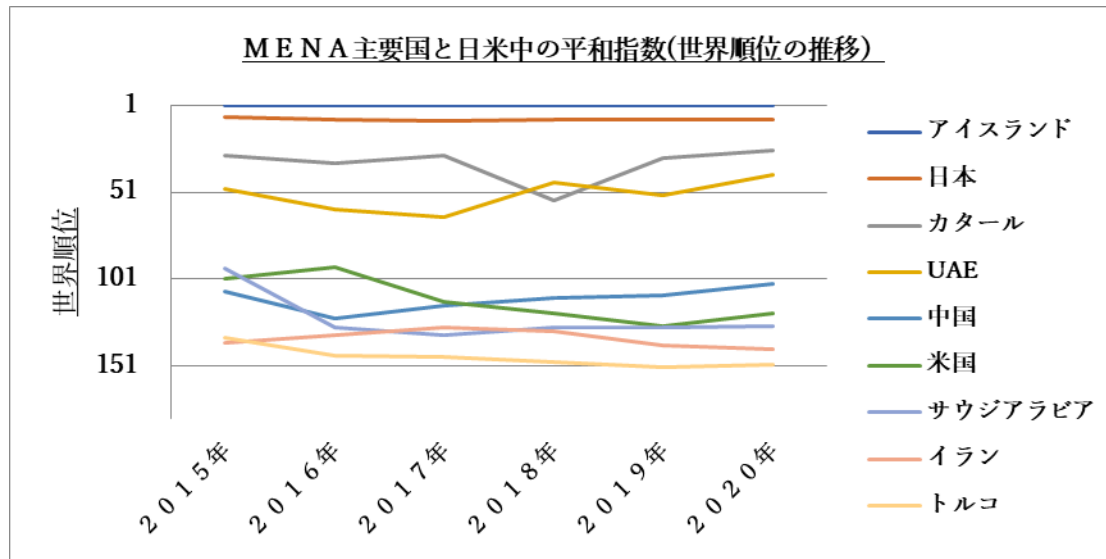
日本を含む主要な国々の世界ランクを見ると、日本は9位(スコア1.360)で順位は昨年と同じであるが、スコアは0.009改善されている。米国、中国、ブラジル、インド、ロシアはいずれも世界100位以下であり、中国は104位、米国はさらに低い121位にとどまっており、ブラジル(126位)と差がない。インドは139位であり、ロシアは調査対象国163か国中の154位にとどまっている。最下位の163位はアフガニスタンである。前年と比較すると、中国及び米国は順位、スコア共に伸びている。インドはスコアは下がったが世界ランクは若干上がっている。一方、ブラジルは世界ランクが昨年の116位から大幅に下がっており、平和が脅かされているようである。

中東各国を見ると、トップはカタールで同国の世界順位は27位と世界的にみても平和指数がかなり高く、また前年と比べても指数、ランクともに上昇している。中東でカタールに次いで平和指数が高いのは UAE で世界ランクは41位である。昨年の同国のランクは53位であり、今年大幅にアップしていることは注目に値する。

カタールと UAE を除くその他の中東諸国は、ほとんど100位以下にとどまっている。カタール、UAE とともに GCC の構成メンバーである産油国サウジアラビアの世界順位は163カ国中の128位である。エジプトは130位にランク付けされ、イラン、イスラエル及びトルコはそれぞれ142位、145位、150位である。これら各国の順位を前年と比較すると、エジプトはアップ、イランはダウンし、イスラエル及びトルコはほぼ横ばいである。

(上昇傾向の中国、UAE、下位で低迷するサウジ、イラン、トルコ！)

3. 日米中と中東主要国の世界ランクの推移(2015年～2020年)



日本、米国、中国及び中東5か国(カタール、UAE、サウジアラビア、イラン、トルコ)の2015年から2020年までの6年間の平和指数世界ランクの推移を見ると、2015年は日本8位、カタール30位、UAE49位、サウジアラビア95位、米国101位、中国108位、トルコ135位、イラン138位であった。

日本はその後もベストテンを続け過去3年は世界9位である。因みに世界1位は6年間連続してアイスランドである。米国の世界順位は101位(15年)→94位(16年)→114位(17年)→121位(18年)→128位(19年)→121位(20年)と2016年に100位以内に入ったもののその後は再び100位以下に転落、現在は120位台に低迷している。一方中国は2016年(124位)以降上昇傾向に転じ、2018年には米国を追い抜き、100位以内が目前である。

中東諸国の中ではカタールと UAE の安全指数が過去6年間を通じて他国を圧倒している。中東で最も平和指数が高いカタールは2018年に56位まで転落し UAE に中東トップの座を奪われたが、その後は前回、今回と順位がアップ、今年は過去6年間で最も高い世界27位である。カタールに次いで平和指数が高い UAE は2017年の世界65位を底にその後は上昇傾向に転じ今年もカタール同様過去6年間で最も高い41位に上昇している。

2015年に95位であったサウジアラビアは2016年に一気に129位に転落、その後改善の兆しがなく130位前後に低迷している。イラン及びトルコも最低クラスに低迷したまま、最近さらには下

落気味である。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-Mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

世界平和指数(GPI)ランキング

2020 年			2019 年		2020/2019 年	
世界順位	国名	スコア	世界順位	スコア	順位	スコア
1	アイスランド	1.078	1	1.072	0	▲ 0.006
2	ニュージーランド	1.198	2	1.221	0	0.023
3	ポルトガル	1.247	3	1.274	0	0.027
4	オーストリア	1.275	4	1.291	0	0.016
5	デンマーク	1.283	5	1.316	0	0.033
最下位 (163位)	アフガニスタン	3.644	163	3.574	-	▲ 0.070
9	日本	1.360	9	1.369	0	0.009
48	韓国	1.829	55	1.867	7	0.038
104	中国	2.166	110	2.217	6	0.051
121	米国	2.307	128	2.401	7	0.094
126	ブラジル	2.413	116	2.271	▲ 10	▲ 0.142
139	インド	2.628	141	2.605	2	▲ 0.023
154	ロシア	3.049	154	3.093	0	0.044
	(中東主要国)					
27	カタール	1.616	31	1.696	4	0.080
41	UAE	1.752	53	1.847	12	0.095
128	サウジアラビア	2.443	129	2.409	1	▲ 0.034
130	エジプト	2.481	136	2.521	6	0.040
142	イラン	2.672	139	2.542	▲ 3	▲ 0.130
145	イスラエル	2.775	146	2.735	1	▲ 0.040
150	トルコ	2.959	152	3.015	2	0.056
162	シリア	3.539	162	3.566	0	0.027

Source: Corruption Perception Index 2019 & 2020

<http://visionofhumanity.org/indexes/global-peace-index/>

1 世界ランクシリーズ 7「世界と中東主要国の軍事費」参照。
<http://mylibrary.maeda1.jp/0503WorldRank7.pdf>